

アメリカンフットボールの北海道学生選手権は29日、札幌厚別公園競技場ほかで第6節の1部2試合、2部1試合を行った。甲子園ボウルにつながる1部リーグは北海学園大が札幌学院大に56-7で快勝し、北星学園大は21-7で帯広畜産大を下した。この結果、北海学園大は4連勝（無敗）で首位に立ち、この日試合の無かった北海道大が3勝（無敗）で追う展開になった。

北海学園大は第1Q、最初の攻撃シリーズでQB佐和田健悟（4年、名寄高）がWR成田将吾（4年、北海道栄高）へTDパスを決めてあっさりと先制すると、その後はRB阿部龍太郎（3年、室蘭栄高）の3TDラン、QB佐和田が自ら持ち込む2TDランなどで加点した。札幌学院大は昨季のリーディングラッシャーのRBアンダーソン・真・グレン（3年、北広島西高）が北海学園大守備陣に計111ヤードに抑えられ、第2QにRB小笠原尚樹（3年、北海道尚志高）のダイブで1TDを返すのが精いっぱいだった。

北海学園大の斎藤一翔監督は「アンダーソン選手を止められたのが収穫。守備チームは若い選手も多く、相手QBを捕まえきれない場面もあったが、各自の役割を認識してプレーできた」と、勝利の立役者たちを評価。守備キャプテンのDB中里瑞己（4年、旭川西高）は「守備ラインが圧力をかけ、開いた穴はLBが詰めてアンダーソンを封じた。複数のポジションをこなす選手が多いのがプレーの幅につながっている。北大戦もまずは相手の得意プレーのランを止める」と自信を見せた。

第7節は10月6日、札幌市円山陸上競技場で1部の札幌大-北星学園大（午前10時）と北海道大-札幌学院大（午後1時）の2試合、北海道医療大グラウンドで2部の北海道科学大-北海道医療大（午後1時）を行う。

（北海道学生連盟広報委員・塚田博）